

浜学園	4年							
	算数							
学習内容	8月の学習内容 No.21 平面図形(8) No.22 植木算 No.23 数列(1) No.24 数列(2)							
家庭学習ポイント	No21は面積公式と単位の復習です。図形の移動に関する問題も登場します。平行移動、回転移動に加え「チャレンジ問題」では転がり移動も登場します。これで図形分野の学習は一旦終了となります。No.22 は植木算です。「両端に植える」「両端に植えない」「道の両側に植える」といった基本パターンに加え、紙テープをつなぐ問題なども学習します。「チャレンジ問題」では複雑な形に人が並ぶタイプの植木算も出題されています。機械的に計算だけで処理するのではなく、計算で処理する部分と数えだす部分を分けるなど、工夫が必要です。No.23からは数列の学習に入ります。No.23ではいろいろな数列を見抜くことから始まりますが、学習の中心は等差数列です。「□番目の数」そして「□番目の数までの合計」を求める方法を学びますが、もちろん公式を丸覚えするのはなく、いつでも「その公式を使って求められる理由」を説明できるようにしておくことが大切です。No.24では群数列、あまりによる組分けを学習します。							
課題の把握と解決策	チェック1	図形の移動の問題では、動いたあとを図に記入して解いていますか？						チェック
	解決策	動いたあとを書き込まないと、思わぬところが見えずミスをしがちです						□
	チェック2	植木算の「+1」をなんとなく使っていませんか？						チェック
	解決策	つねに「指が5本なら間は4つ」のように具体的なものに落とし込んで確認しましょう						□
	チェック3	等差数列の合計を計算する公式で「÷2」を忘れたことがないですか？						チェック
	解決策	つねに「同じ数列をもう一つ用意してひっくり返す」をイメージして忘れないようにしましょう						□
	チェック4	あまりによる分類がしっかり腑に落ちていますか？						チェック
	解決策	カレンダーで「2022年8月の火曜日は7でわってあまり2の日」など練習するといいですね						□
	チェック5	マスター授業＋夏期講習、うまく回っていますか？						チェック
	解決策	夏期講習は復習中心なので、マスターの宿題とうまくバランスを取ってこなしましょう						□
浜学園	4年							
	国語							
学習内容	8月の学習内容 「漢字の書き方（1）」 「漢字の書き方（2）」 「熟語」 「同類語・反対語」							
家庭学習ポイント	8月も知識分野の学習が行われます。漢字の書き方、熟語、同類語、反対語といった内容です。漢字のよい覚え方がが今ひとつわからないというお子さんは、「漢字の成り立ちを知る」ということを身につけられると、今後の漢字学習の効率がぐっと変わってきます。また部首についての理解を深めることも、漢字の知識をつける際の大きな助けになります。熟語は単に記憶するだけでなく意味を考えて、つまり例文の中での使い方とともに覚えるのが効果的です。「同類語と反対語」の単元では、熟語の意味について学べるよい機会です。意味を考えながら熟語を覚えるようにしましょう。同類語といっても全く同じ意味でないので、文意に沿った言葉を選ぶ必要があります。反対語は、「熟語」の単元で学習した「反対の意味の字を組み合わせたもの」と密接な関係があります。「平常授業＋夏期講習」の忙しい毎日が続きます。「忙殺」されないよう注意しましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	漢字の部首の役割を理解して学習していますか？						チェック
	解決策	へんはその漢字が表すものの種類、つくりは音を表す、位を知っておくといいですね						□
	チェック2	漢字は単体だけでなく、熟語や例文中で覚えていますか？						チェック
	解決策	実際にどのような場面で使われているかを知っておくことが重要です						□
	チェック3	漢字の成り立ちを調べる習慣がありますか？						チェック
	解決策	漢字を覚える大きな手助けになることがあります。ぜひ調べてみましょう						□
	チェック4	国語の学習において、語彙を増やす大切さを理解していますか？						チェック
	解決策	語彙が多いと長文読解もスムーズになり、読み取りの正確さも上がります。						□
	チェック5	平常授業と夏期講習、バランスが取れていますか？						チェック
	解決策	「忙殺」されないように気をつけましょう						□

浜学園	4年							
	理科							
学習内容	8月の学習内容 No21「星の1日の動き」 No22「月」 No23「電流と回路」 No24「かん電池のつなぎ方」							
家庭学習ポイント	No21「星の1年の動き」では星の年周運動について学習します。「1年で地球が太陽のまわりを1周＝360度回転」することによって「1年で360度＝1か月で30度星が動いて見える」というものですね。日周運動（1日で地球が360度自転＝1時間で15度天体が動いて見える）とあわせ、いつ、どこに見えるかを計算によって求めることができます。つねに「1時間・・・15度」「1か月・・・30度」を書き出して考えるようにしましょう。No19からは電流の学習に入ります。「豆電球とかん電池」「かん電池のつなぎ方」「豆電球のつなぎ方」と丁寧に進んでいきますが、全体を通して「電流・電圧・電気抵抗」のイメージをしっかりと持つことが大切です。「電流＝回路の電気の流れ」「電圧＝電流を流そうとするポンプ」「電気抵抗（豆電球）＝電流が流れるのを妨げるもの」といったイメージです。その上で「電気抵抗（豆電球）が直列＝流れにくい道が長くなった＝電気抵抗が大きくなり流れにくい」「電気抵抗（豆電球）が並列＝流れにくい道が太くなった＝電気抵抗が小さくなり流れやすい」とイメージしながら、回路に流れる電流の大きさや豆電球の明るさを考えていけばOKです。							
課題の把握と解決策	チェック1	星の1日、1年の動きを正確に計算できますか？						チェック
	解決策	つねに「1時間・・・15度」「1か月・・・30度」を書き出して、何倍か考えるようにしましょう						□
	チェック2	電気回路の「ショート」を見抜くことができますか？						チェック
	解決策	乾電池の＋極から－極まで、豆電球を通らずに到達できるとショートします						□
	チェック3	乾電池の直列、並列と電圧の大きさの関係がわかっていますか？						チェック
	解決策	乾電池の直列つなぎ＝電圧（電池のパワー）が大きくなるイメージですね（並列では変わらない）						□
	チェック4	豆電球の直列と電気抵抗の大きさの関係がわかっていますか？						チェック
	解決策	豆電球の直列つなぎ＝流れにくい道がさらに長くなり電気抵抗が大きくなるイメージですね						□
	チェック5	豆電球の並列と電気抵抗の大きさの関係がわかっていますか？						チェック
	解決策	豆電球の並列つなぎ＝流れにくい道が広くなり電気抵抗が小さくなるなるイメージです						□
浜学園	4年							
	社会							
学習内容								
家庭学習ポイント								
課題の把握と解決策								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□
								チェック
								□